

バリアフリー展 車いす安全整備士実行委員会 誰にでもできる点検と整備 参考資料

1. フットサポート

(1) フットサポート（貫通式）の仕組み



パイプに直接穴が空いており、そこにボルトを通して固定している。
ボルトの締付が緩いと、プレートを上げても落ちてくる。

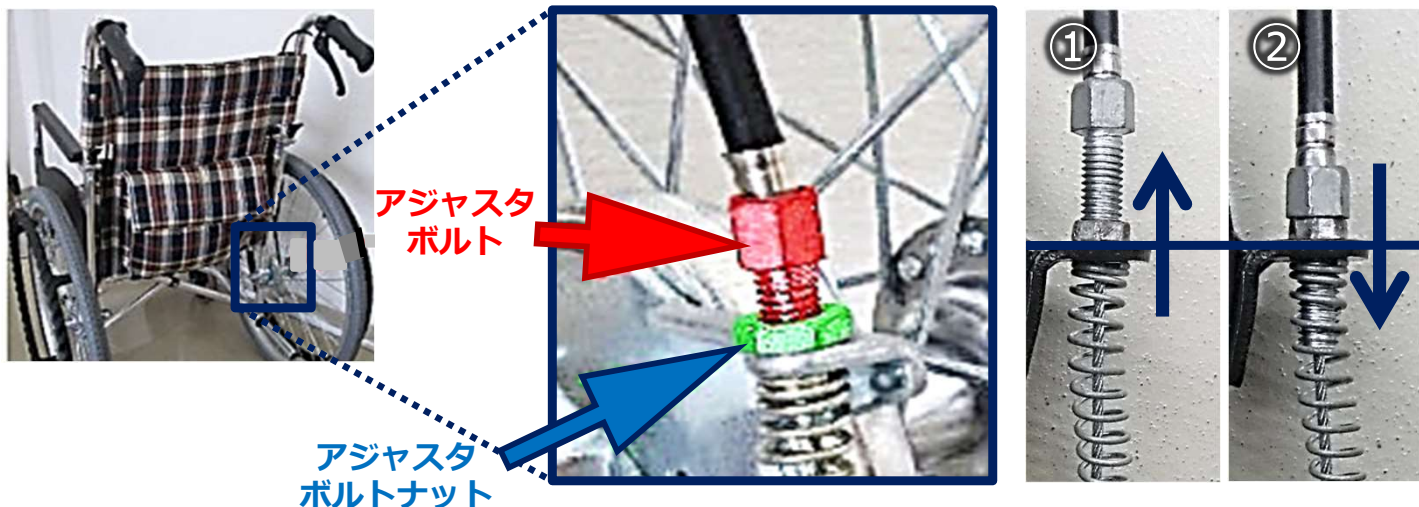
(2) フットサポート（ウェッジ式）の高さ調整



フットサポート裏側にあるボルトを緩めると、高さの調節が可能になる。
調節後はしっかりと締め、固定する。

2. 制動用ブレーキ（介助用ブレーキ）の微調整

～アジャスタボルトによる微調整



ボルトを上にはげるとブレーキが強くなり（写真①）、反対にボルトを下に下げるとブレーキが弱くなる（写真②）。

※調整は下のナットを緩めてから行い、調整後は必ずナットを締める

3. タイヤと駐車用ブレーキ（空気を入れる重要性）

(1) タイヤの劣化見本



摩耗



硬化→破損



ひび割れ

(2) プランジャ（虫ゴム必要タイプ・虫ゴム不要タイプ）について



①虫ゴム必要タイプ



破損時交換が必要

②虫ゴム不要タイプ
(スーパーバルブ)



見た目での劣化確認が
できない

(3) タイヤの空気入れ



タイヤ側面に記載されている適正空気圧（kpa、PSI等の圧力単位）を確認して入れる（写真左）。 ※1

確認するには写真右のような目盛り付きの空気入れが必要になる。 ※2

※1 メーカー取り扱い説明書に数値の記載がある場合は、それに準じてください。

※2 800キロパスカル程度まで入る高圧タイヤ用がおすすめ